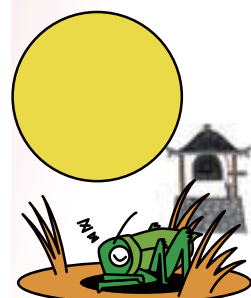


ふるさと探訪

第40回 本善寺



小松町新屋敷にある本善寺は、伊勢神戸より入部した小松藩初代藩主である一柳直頼公に従い小松入りした重臣の



▲ 本善寺外観（写真上）と市指定文化財の扁額（写真下左）と阿弥陀如来坐像（写真右）

荒木角兵衛重勝によって、寛永年間に開創されたと伝えられています。また、重勝は阿弥陀如来坐像を当寺に安置し、小松藩の藩寺（藩土の菩提寺）としたといわれています。この阿弥陀如来坐像は、木造り金箔押し美しい仏像で、製作は平安時代末期から鎌倉時代初期と推定されており、慈愛に満ちた表情やおおらかな体と衣の表現は作製当時を偲ばせる美しいもので、平成3年7月19日に市の文化財に指定されました。

また、山門の軒下には、当寺の山号である「聞名山」の扁額があります。この扁額

は、三代藩主一柳直卿公の直筆といわれ、署名や印章はありませんが、小松邑志に「本善寺 表門聞名山ノ額 御同公（直卿公）筆」とあり、伝来を伝えています。この扁額も平成9年3月14日に市の文化財に指定されています。

近隣には、近藤篤山旧邸や郷土資料室（温芳図書館内）など、藩政時代を偲ばせる建物や資料が多く残っています。

■住所 新屋敷甲3067

（小松公民館東隣）

■駐車場 あり

